

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【公開番号】特開2000-148287(P2000-148287A)
【公開日】平成12年5月26日(2000.5.26)
【出願番号】特願2000-10327(P2000-10327)
【国際特許分類第7版】
G 0 6 F 1/16
【F I】
G 0 6 F 1/00 3 1 2 D

【手続補正書】
【提出日】平成16年2月3日(2004.2.3)

【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】情報処理装置

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

その前面に液晶ディスプレイ装置をもつ表示部と、この表示部を支持する本体部と、この本体部に連結されたキーボード装置とを、含む情報処理装置において、前記キーボード装置は、寝かされた状態と立てられた状態とを、とり得るように前記本体部に連結されたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】
その前面に液晶ディスプレイ装置をもつ表示部と、この表示部を支持する本体部と、この本体部に連結されたキーボード装置とを、含む情報処理装置において、前記キーボード装置は、寝かされた状態と立てられた状態とを、とり得るように前記本体部に連結され、寝かされた状態においても立てられた状態においても、前記キーボード装置のキー入力部は、外方に露出するようにされたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項3】
請求項1または2に記載の情報処理装置において、前記表示部はカードスロット部を備え、前記カードスロット部は、前記表示部の一側面に露出するように配置されることを特徴とする情報処理装置。

【請求項4】
請求項1または2に記載の情報処理装置において、前記表示部はコネクタ部を備え、前記コネクタ部は、前記表示部の一側面に露出するように配置されることを特徴とする情報処理装置。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報処理装置に係り、特に、液晶ディスプレイ装置を表示装置として具備した情報処理装置に関する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は上記の点に鑑みなされたもので、その目的とするところは、薄型で軽量であるという液晶ディスプレイ装置のもつ特性を十分に活かして、表示装置を含めた情報処理装置全体をコンパクトなものにしてスペース効率を高め、また、使い勝手のよいものとして提供することにある。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記した目的を達成するため、その前面に液晶ディスプレイ装置をもつ表示部と、この表示部を支持する本体部と、この本体部に連結されたキーボード装置とを、含む情報処理装置において、

前記キーボード装置は、寝かされた状態と立てられた状態とを、とり得るように前記本体部に連結され、寝かされた状態においても立てられた状態においても、前記キーボード装置のキー入力部は、外方に露出するように、構成される。